

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名 <small>かつらちょうとつかえんどう</small> 桂町戸塚遠藤線（ <small>こすがや まいおか</small> 小菅ヶ谷・舞岡地区）	事業区分 街路	事業主体 横浜市
起終点 自： <small>よこはまし さかえくこすがやちょう</small> 横浜市栄区小菅ヶ谷町 至： <small>よこはまし とつかく まいおかしちょう</small> 横浜市戸塚区舞岡町	延長 0.9 km	
事業概要 本路線は、環状4号線から藤沢市境に至る本市南部地域と西部地域を連絡する放射型の道路で、環状3号線、横浜藤沢線、国道1号等と接続して、南西部の交通ネットワーク強化を図るものである。		
H2年度事業化	S44年度都市計画決定 （H11年度変更）	H2年度用地着手
H6年度工事着手		
全体事業費 57億円 事業進捗率 71% 供用済延長 0 km		
計画交通量 26,000台/日		
費用便益分析結果	総費用 ： <small>(残事業)/事業全体</small> 7.3/68億円 （事業費：6.8/67.7億円 維持管理費：0.5/0.5億円）	総便益 ： <small>(残事業)/事業全体</small> /256億円 （走行時間短縮便益：/226.0億円 走行費用減少便益：/13.3億円 交通事故減少便益：/16.8億円）
基準年 平成16年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） 他4項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 3環状10放射道路の一つに位置づけられており、重点的に整備を進める路線である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺の宅地化が進み、渋滞緩和、交通利便性、市民の安全性の向上のため、早期整備の重要性が高まっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 本地区は平成15年度までに約99%の用地を取得しており、平成16年度までに、用地取得を完了させる予定である。工事についても、引き続き土工事、擁壁工事を行う。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得も進み、環状3号線側から工事を進めており、平成19年度末に完成の予定である。		
施設の構造や工法の変更等 特になし		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 本市南部地域の放射状の幹線道路として重要な道路であり、早期の事業完了を図る必要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。